

2006年11月16日  
トッパン・フォームズ株式会社

## UHF帯ICラベルを用いた展示会向け「来場者管理システム」を開発 株式会社アマダ様の創業60周年記念イベントに採用

情報管理サービス業のトッパン・フォームズ株式会社は、C1G2規格準拠のUHF帯(860MHz～960MHz)ICラベルを利用した、展示会向け「来場者管理システム」を開発し、受注を開始しました。

今までの展示会向け来場者管理システムは、バーコードや13.56MHz帯のICカード/ラベルが使われていました。そのため、来場者は入場や出場、各展示ブース、イベントへの参加の際などには、首から掛けたIDカードを読み取り機に近接させ、かざさなければ認識ができませんでした。来場者がIDカードをかざすことを忘れて、正確な入出場記録が把握できなかつたり、どのブースに立ち寄ったかが記録できず、本来の目的である販売促進のためのデータ収集が十分にできませんでした。

当社が開発した来場者管理システムは、長距離通信可能なUHF帯のICラベルを使用し、入出場口に設置した受け付け端末と会場内に配置したロングレンジリーダーライタを併用することにより、IDカードをかざすことなく正確なデータが記録できます。加えて、管理ソフトで来場者の入場から退場までの動線の記録、各ブースでの滞留時間などが分析でき、今までのバーコード13.56MHz帯のICカード/ラベルでは実現できない、来場者ごとの販売促進に必要なデータ収集を可能にしました。また、退場後はC1G2の「KILLコマンド」を活用し、ICラベルを不活性化することにより、プライバシーにも配慮しています。このたび、金属加工機械のリーディングカンパニーである株式会社アマダ様(本社:神奈川県伊勢原市、代表取締役社長:岡本満夫氏)で開催中の創業60周年記念イベントの来場者管理に採用されました。

各種展示会向けに販路を開拓し、向こう3年間で2億円の売上をめざします。



受付端末



動線管理用アンテナ?(天井取り付け)

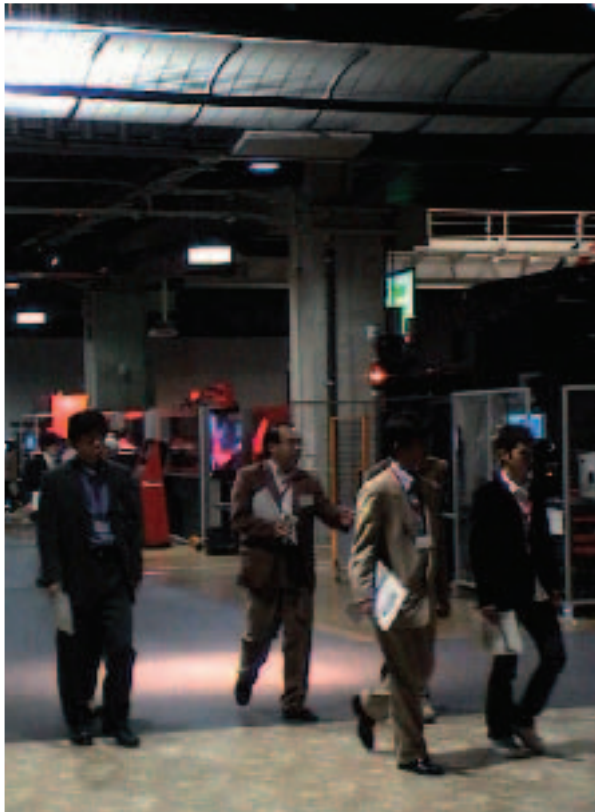
○機器構成

- ・C1G2規格実装のICラベル
- ・UHF帯対応ICラベルプリンタ
- ・UHF帯対応ロングレンジリーダライタ
- ・管理ソフト

○特徴

1. ICへの書き込みとラベルへの同時印字で効率のよい発行
2. 今まで実現できなかった、来場者ごとの動線やブースでの滞留時間の分析が可能  
その結果、有効な販売促進ためのデータが収集できる
3. 退場後はC1G2「KILLコマンド」の活用により、プライバシーにも配慮

以上



天井のアンテナにより、  
入場者の位置情報を自動的に取得